

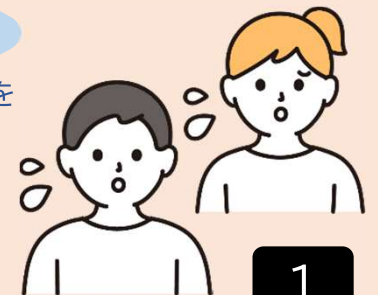
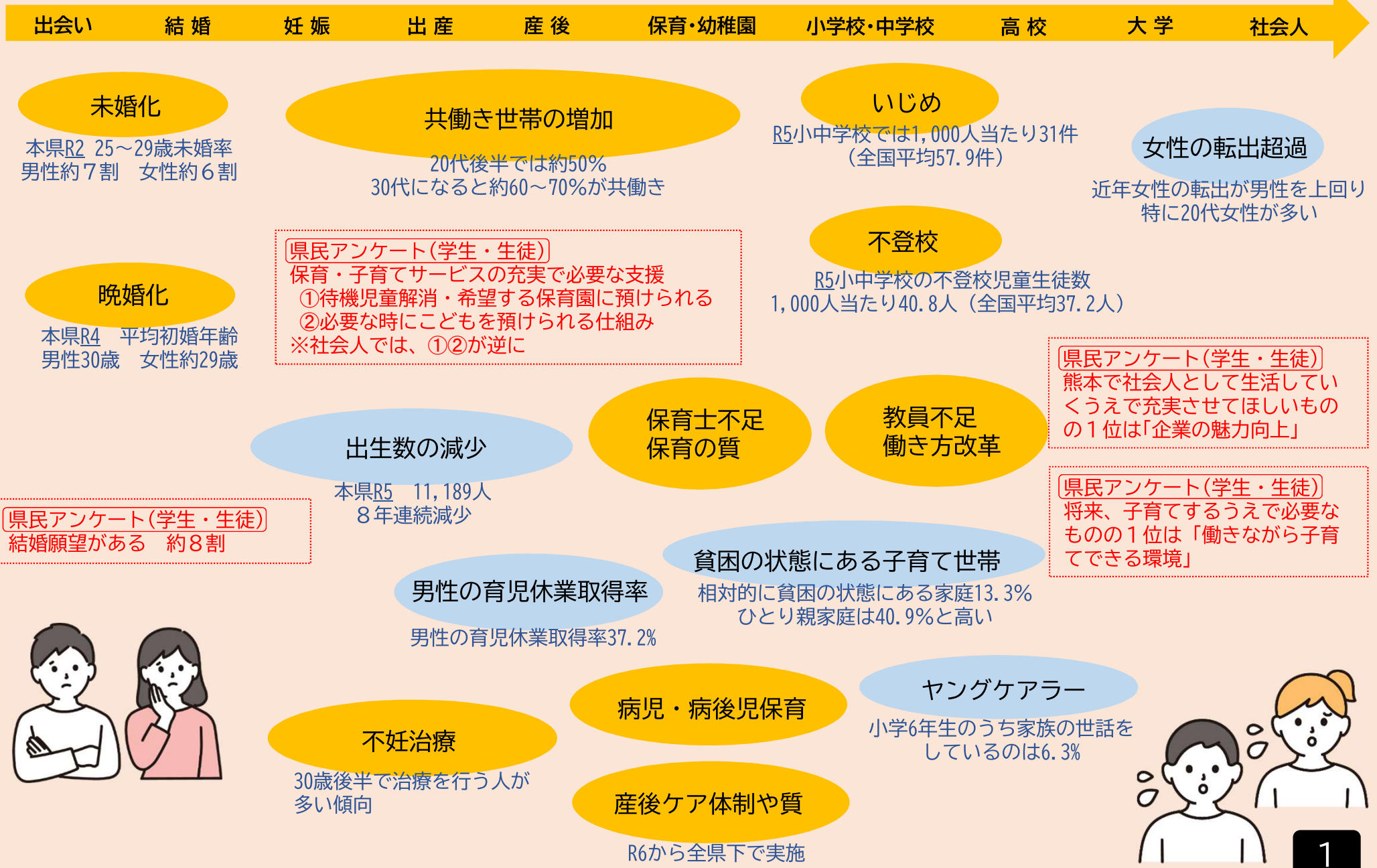
# 「こどもまんなか熊本」の 今後の取組みについて

令和7年(2025年)6月4日

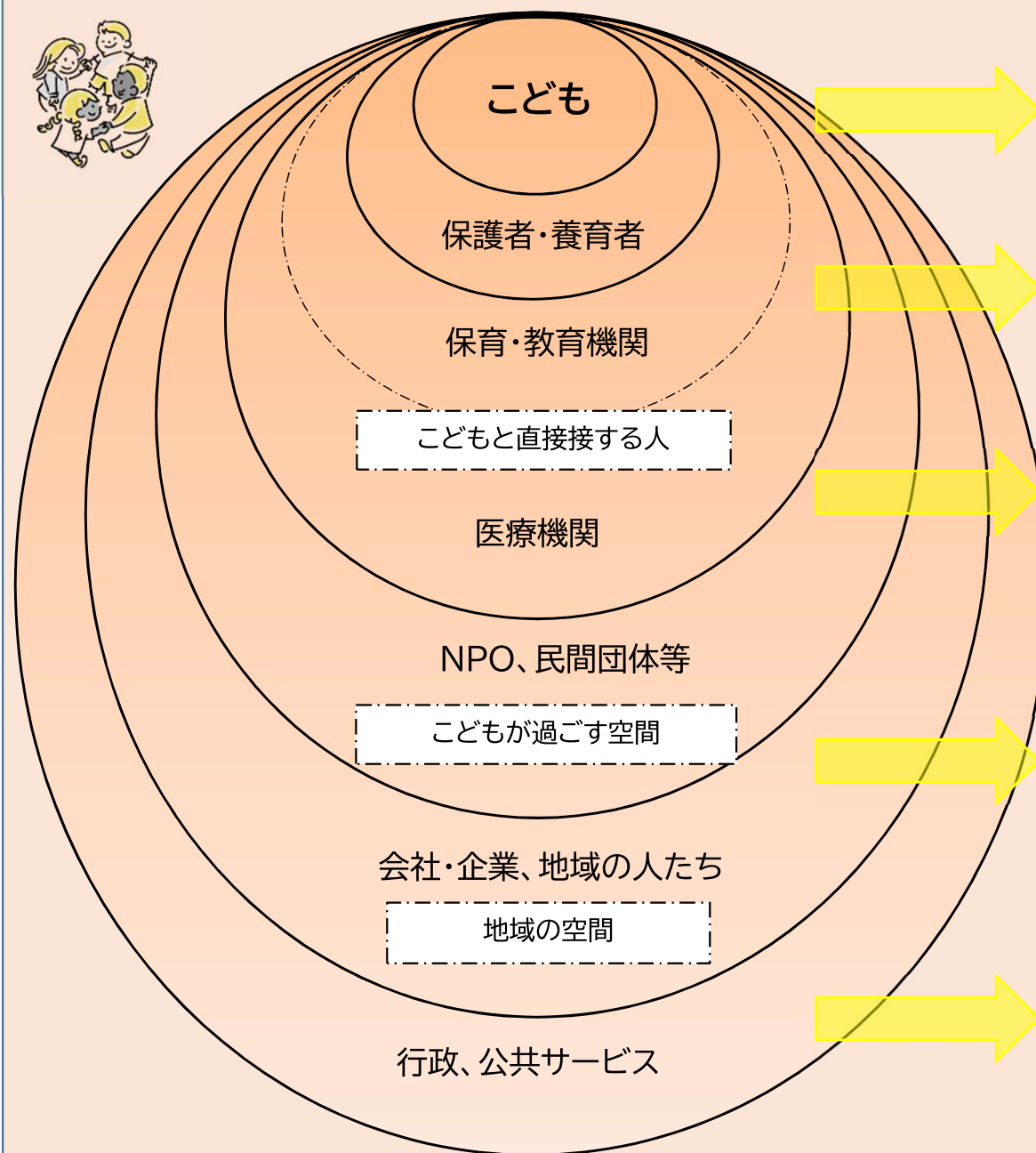


# 「こどもまんなか熊本」の取組みの方向性について(1)

## 【本県の現状・主な課題】



# 「こどもまんなか熊本」の取組みの方向性について(2)



## 【本県の現状・主な課題】

- ・貧困の家庭、ヤングケアラー
- ・共働き世帯の増加

- ・保育士不足、保育の質
- ・いじめ・不登校
- ・教員不足、働き方改革

【県民アンケート(学生・生徒)】  
保育・子育てサービスの充実に必要な支援  
①待機児童解消  
②必要な時にこどもを預けられる仕組み  
※社会人では、①②が逆に

- ・病児・病後児保育

【県民アンケート(学生・生徒)】  
将来、子育てするうえで必要なものの1位は「働きながら子育てできる環境」

- ・県内は中小企業がほとんど、男性育休取得37.2%
- ・働き続けられる職場環境づくり
- ・地域で子育てする視点・取組み

【県民アンケート(学生・生徒)】  
熊本で社会人として生活していくうえで充実させてほしいものの1位は「企業の魅力向上」

- ・こどもまんなか社会に向けた官民の連携

- ・少子化の進行
- ・不妊治療、産後ケア
- ・女性の転出超過

【県民アンケート(学生・生徒)】  
結婚願望がある 約8割

## 【5つの視点】

こども・若者が  
幸せに暮らし、  
成長できるよう  
にする

子育て中も  
安心して働き続  
けられる環境  
(親が帰ってく  
るまでこどもが  
安心して過ごせ  
る居場所)整備

中小企業での  
「こどもまんな  
か熊本」取組み  
の推進

結婚から安心  
してこどもが  
産める流れを  
創る

庁内外の連携体制の構築

# 「こどもまんなか熊本」の取組みの方向性について(3)

## 【5つの視点と取組みの方向性】

こども・若者が幸せに暮らし、成長できるようにする

➤ 保育・教育現場における人材確保・育成、働き方改革

- R7事業**
- ・保育士情報のDB化、求人情報とのマッチング
  - ・保育体験など中高生へのアプローチ、保育士の魅力発信
  - ・教員業務支援員の全校配置、教員DX化
  - ・インクルーシブ教育の運営モデル など
- ※教育関係は、教育委員会と連携した取組み

子育て中も安心して働き続けられる環境（親が帰ってくるまでこどもが安心して過ごせる居場所）の整備

- 放課後児童クラブの充実
- セーフティーネットである病児・病後児保育の充実

- R7事業**
- ・県内ニーズや運営状況把握、関係者意見聴取など

中小企業での「こどもまんなか熊本」取組みの推進

➤ 中小・小規模事業者への行政支援

- R7事業**
- ・よかボスの取組み検証など
- ※商工労働部と連携した取組み

結婚から安心してこどもが産める流れを創る

- 出会いの創出（結婚支援）、ライフデザインを考える機会（思春期保健教育・AMH検査等）の創出
- 不妊治療、産後ケアの充実

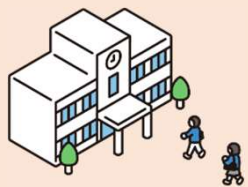
- R7事業**
- ・結婚支援のあり方検討、不妊治療への助成
  - ・産後ケア体制の充実強化に向けた現状把握など

庁内外の連携体制の構築

- 庁内の推進本部・幹事会を中心に施策を検討・推進

令和7年度も関係者からの意見聴取を継続しながら、令和8年度以降の施策に繋げていく

## 【取組みのイメージ】（放課後児童クラブの場合）



### R7

- ・市町村ニーズ調査
- ・クラブから意見聴取(出向く型)
- ・こども・保護者から意見聴取(座談会型)
- ・県の補助制度見直し検討

### R8

- ・市町村・クラブ連携の好事例の共有
- ・県の補助制度見直し(経過措置)

### R9以降

- ・市町村・クラブ連携の好事例の県内波及
- ・県の補助制度見直し(本格実施)



- 放課後児童クラブのほか、「5つの視点と取組みの方向性」に記載した取組みは、上記のように、現場の声を聴きながら事業改善に努めていきます。

## こども・若者、子育て当事者等から意見を聴く取組みについて

### 【こども未来創造会議のテーマ】

- ・「主な課題」や「5つの視点と取組みの方向性」を踏まえ、以下のテーマを中心に意見聴取を実施。

### ○放課後児童クラブの充実

- ・放課後児童クラブの受け皿整備を着実に進め、クラブの安定的な運営を確保し、待機児童の早期解消と「小1」「小4」の壁の克服を図る。

### ○病児・病後児保育の充実

- ・こどもが病気ของときは休暇を取れるよう職場における休暇取得の気運を醸成するとともに、市町村の広域連携など病児・病後児保育の充実を目指す。

### ○結婚支援（ライフデザイン支援）の推進

- ・「こどもまんなか熊本」の実現に資する県としての結婚支援の在り方を再点検し、それぞれの希望に応じた結婚支援（ライフデザイン支援）を推進する。

| 取組み              | 概要                                                                                                  | 実施時期（予定）                                          |
|------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|
| ①こども未来創造会議（出向く型） | ・ 保育園、放課後児童クラブ、病児保育事業所、結婚相談所等に直接職員が出向いて意見聴取                                                         | ・ 随時                                              |
| ②こども未来創造会議（座談会型） | ・ こども・若者、子育て世代、保育・教育の現場で働く方をモニターとして公募し、座談会形式で実施。<br>・ ファシリテーターによる発言しやすい場づくり、わかりやすい資料を使った事前の情報提供を実施。 | ・ 開催時期<br>7月～9月<br>・ 開催場所<br>4カ所<br>(県央、県北、県南、天草) |
| ③業界団体との意見交換      | ・ 県庁内全部局における業界団体との意見交換                                                                              | ・ 7～9月                                            |
| ④こどもまんなか応援団      | ・ 県庁の20～30歳代の若手職員（子育て経験・結婚の有無等に関わらず、結婚や子育てについて率直な意見を述べるができる方）から庁内の働き方やこども施策について意見を聴取。               | ・ 7～9月                                            |

# 「こどもまんなか熊本」ロードマップイメージ（案）

